

2015年8月3日～
2015年9月25日

FCENA 特別キャンペーン

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。この度、FCENAシリーズ販売20年を記念致しまして、**鉄道総合技術研究所版を含む全パッケージ**を対象に「**FCENA特別キャンペーン**」を開催致します。

キャンペーン期間中につきましては、**特別割引価格**でご提供させていただきます。是非この機会にご購入賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

キャンペーン特別価格

◎FCENA全商品 新規購入・バージョンアップ

..... 10% OFF

※ サポート価格につきましては割引対象外とさせていただきます

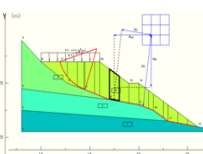
【 対象商品のご紹介 】

2015年8月現在

斜面安定計算

COSTANA V17.2

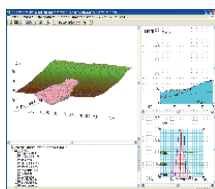
盛土および切土斜面の安定性を円弧または複合すべり面で計算します。フル機能版、設計基準を限定した基準限定版、入力画面・設計書・報告書等を英語で出力する英語版、日本語・英語の表示を随時返還できる日英版をご用意しております。



3次元斜面安定計算

COSTANA-3D V1.3

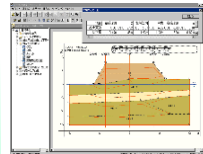
3次元地形データを作成し、3次元斜面安定計算を行うシステムです。GISシステム (ArcViewESRI社) で作成した3次元データを利用し、3次元斜面安定計算を行うGISオプションもご用意しております。



圧密沈下計算

DECALTO V16.1

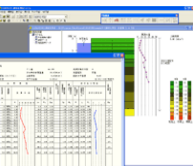
盛土や任意荷重による粘性層、砂質層、泥炭層の圧密沈下計算を行います。また、斜面安定計算COSTANAとの連携(盛土・土層形状・任意荷重、圧密度)が可能です。入力画面・計算書・報告書等を英語で表示する英語版、日本語・英語の表示を随時変換できる日英版もご用意しております。



液状化判定(地震応答解析対応)

LIQUEUR V15.1

地震応答解析結果または簡易判定法により地盤の液状化判定を行います。地震応答解析と液状化判定が行えるフル機能版と、液状化判定が行える機能限定版をご用意しています。応答加速度、応答変位をアニメーション表示し、動的解析を視覚的に表示します。



平面骨組計算

FREMG V13.4

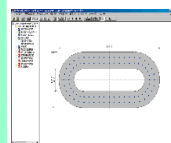
高架橋、地下構造物、建物などの梁モデルの変形計算を行います。分布荷重、温度荷重、節点集中荷重、集中モーメントをはじめとした各種荷重条件に対応するとともにパターン入力、CAD入力機能により、データ作成を大幅に短縮する事ができます。



RC断面計算

EMRGING V12.4

RC断面の限界状態設計法(終局、使用、疲労、耐震)および許容応力度法の設計計算を行います。短形、円形、円環、箱型、I型、T型、小判型及び任意型(左右対称・非対称)の断面の検討、および計算書、複数断面の一覧表、CSVファイル作成ができます。平面骨組計算FREMG、地中構造物の耐震設計支援GALKINSとの連携(部材断面力)が可能です。



【お問い合わせ】

富士通エフ・アイ・ピー株式会社 TC営業部 FCENA担当
〒105-8668 東京都港区芝浦1-2-1 シーパンスN館11F
TEL : 03-5730-0723 FAX : 03-5730-0720
URL : <http://www.fcena.jp/portal/>

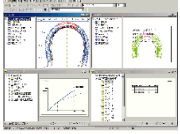
【ダイレクトメールご不要の連絡先】

富士通エフ・アイ・ピー株式会社 FCENAサポートセンター
〒135-8686 東京都江東区青海2-4-32(タイム24ビル)
TEL:0120-841-118 FAX:03-5531-5226
E-mail:fcena-info@cs.jp.fujitsu.com

変状トンネルのひび割れ進展解析システム
DEFTRACK V2.2

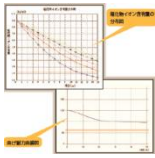
(財)鉄道総合技術研究所『変状トンネル対策工設計マニュアル』および、東日本高速道路(株)『設計要領 第三集(トンネル)』に基づき、梁・パネモデルによる骨組解析手法を用いたひび割れ進展解析を行うシステムです。

地圧による変状トンネルの対策工検討にひび割れ進展解析を適用することにより、対策効果の定量的評価が可能となります。



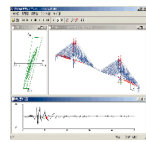
コンクリート構造物の劣化診断とLCC評価
DIALLC V2.3

コンクリート構造物の塩害および中性化による劣化の浸透予測を行い、補修工法ごとのLCC(ライフサイクルコスト)を評価するシステムです。経年ごとの鉄筋の腐食発生率を算出し、各種補修工法を用いた場合の構造物の供用期間中におけるLCCを評価する事により、適切な維持管理計画の立案を支援します。

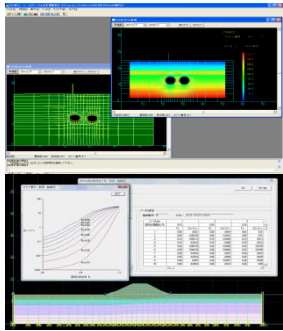


道路橋示方書対応耐震設計支援システム
EARMEST V7.2

道路橋示方書(平成24年3月)に対応した静的照査から動的照査まで解析可能な2次元/3次元の骨組モデルによる道路橋の耐震設計支援システムです。フル機能版(3,000節点)と、節点数を制限したLite版(500節点)、地震時保有水平体力法が行える保耐版をご用意しています。



2次元地盤解析支援システム **AFIMEX-GT V7.1**



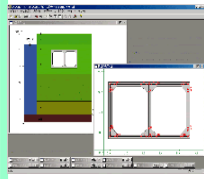
トンネル、埋立、斜面安定、耐震といった、わが国特有の地盤工学上の問題を解決する為に開発され、長年の実務を通じて培われてきた地盤解析の統合システムです。

地盤変形解析(線形/非線形/弾塑性)、圧密解析(土水連成)、浸透流解析(定常/非定常)、動的解析(地震応答解析)、液状化解析(地震時の土水連成)、およびALID手法による液状化残留変形解析を行うことができます。CAD操作による地盤と構造物の定義やメッシュの自動生成、アニメーション等による解析結果のビジュアル化などプレポスト機能が充実しています。

地中構造物の耐震設計支援システム
GALKINS V7.1

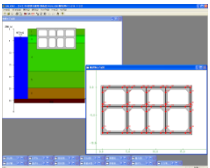
地中線状構造物(横断方向)を対象にレベル1、レベル2地震動による構造物のねばり(材料非線形)を考慮した耐震設計を可能としています。上下線分離構造物等のような短形構造物にも対応でき、地盤バネ、荷重に任意な値を設定する事ができます。

基本システム及び動的解析オプションで構成されます。

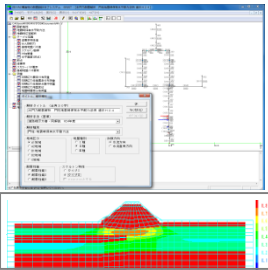


揚排水機場の耐震設計支援システム
PUMPLAN V1.1

河川施設の揚排水機場および、上下水道施設の池状構造物の貯水槽を対象とした耐震設計計算を行うシステムで、5層13区間までの大規模構造物の解析を行うことができます。



ALID手法による堤防の解析と河川構造物の耐震設計支援システム **RIVERUS V3.1**



国土省「河川構造物の耐震性能照査指針・同解説 平成24年2月」に基づき河川堤防、堰(せき)、水門、樋門(ひもん)等の耐震性能の照査を行うためのシステムです。「道路橋示方書・同解説 平成24年3月」、「既設橋の耐震補強設計に関する技術資料 平成24年11月」の解析手法にも対応しています。

本システムは2つのサブシステムで構成されています。今回 お客様のご要望にお応えて、『ALID手法による土構造物の耐震設計サブシステム(SRIST)』と『河川RC構造物の耐震設計サブシステム(GRIST)』の分割販売を開始しました。

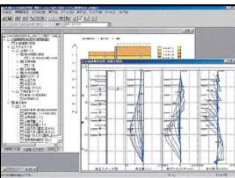
GHE-Sモデルを用いた地震応答解析と累積損傷度理論による液状化判定
LIQUEUR-JR V2.1

鉄道構造物等設計標準・同解説 耐震設(平成24年9月)に準拠し、鉄道総合技術研究所様により開発された液状化判定システムです。GHE-Sモデルを用いた地震応答解析とL1地震動の検討、L2地震動に対応した累積損傷度理論による液状化判定を行います。



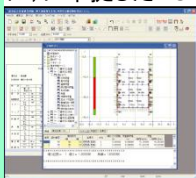
開削トンネル土留め工設計システム
RAINPAL-JR V2.2

鉄道構造物等設計標準・同解説 開削トンネル付属資料 掘削土留め工の設計(平成13年3月)に準拠し、公益財団法人 鉄道総合技術研究所により開発された弾塑性法による土留め工の設計計算システムです。



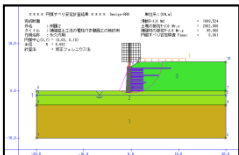
地下連続壁を本体に利用する構造物の設計システム
RAINFRAME-JR V1.2

鉄道構造物等設計標準・同解説(開削トンネル)に準拠したRC地下連続壁を本体に利用する構造物の設計システムです。簡易な一体計算法である仮設時の応力を考慮した計算(擬似一体計算法)ができる唯一のソフトです。



補強土工法設計計算システム
Design-RRR V3.1

鉄道構造物等設計標準・同解説(土構造物)平成19年1月に準拠し、公益財団法人 鉄道総合技術研究所様により開発された補強土工法の設計計算を行うシステムです。性能照査型設計に準じた補強土壁の設計計算を行うことができます。



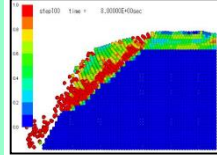
土構造物設計計算システム
Design-SoilStructure V2.1

鉄道構造物等設計標準・同解説(土構造物)平成24年9月に準拠し、公益財団法人 鉄道総合技術研究所様により開発された鉄道における土構造物の設計計算を行うシステムです。土構造物の設計をトータルでサポートし、盛土、切土、支持地盤などの設計計算を行うことができます。



粒子法による大変形地盤解析システム
MPMSOIL-3D V1.1

粒子法(MPM:Material Point Method)による斜面の崩壊と崩壊土砂の飛散を一連で計算できるシステムです。有限要素法(FEM)を用いた地盤変形解析では評価できなかった地盤の大変形・崩壊挙動予測と評価が可能です。



是非FCENAポータルサイトもご覧ください！FCENAに関する様々な情報が掲載されています。

FCENA

検索

